

API連携認証（利用登録）

API連携認証（利用登録）

手順 1-1 API 連携認証（利用登録）（電子証明書方式のお客様）



① API連携先の画面より遷移し、<API連携認証（利用登録）>画面が表示されます。

「電子証明書ログイン」ボタンをクリックし、クライアント認証ウィンドウに表示される証明書情報を確認のうえ、該当の証明書を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

電子証明書ログイン

※. Windowsのバージョンにより、クライアント証明ウィンドウの内容が異なる場合がありますが、操作方法は同じです。



② <API連携認証（利用登録）>画面が表示されます。

「ログインパスワード」を入力して、「API連携」ボタンをクリックし、**手順2**へ進みます。

ログインパスワード

API連携

手順 1-2 API 連携認証（利用登録）（ID・パスワード方式のお客様）



① API連携先の画面より遷移し、<API連携認証（利用登録）>画面が表示されます。

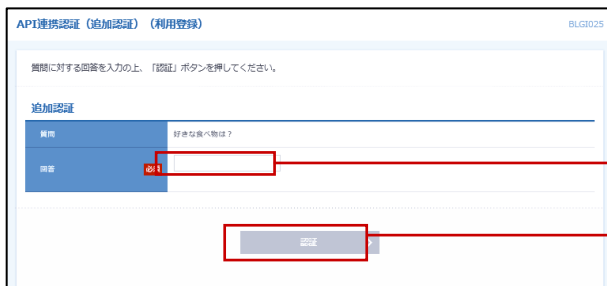
「ログインID」、「ログインパスワード」を入力して、「API連携」ボタンをクリックし、**手順2**へ進みます。

ログインID

ログインパスワード

API連携

手順2 API 連携認証（追加認証）（利用登録）



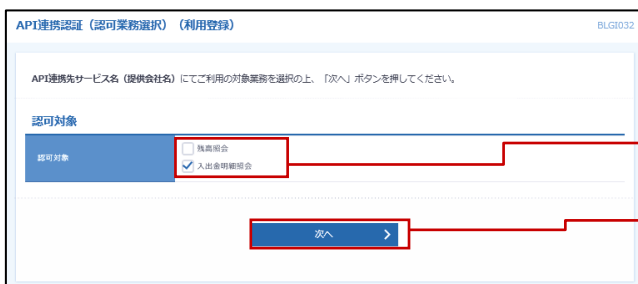
<API連携認証（追加認証）（利用登録）>画面が表示されましたら、回答を入力し、「認証」ボタンをクリックします。

回答を入力

認証

※. リスクベース追加認証を利用している場合に
表示される可能性があります。
表示されない場合は、**手順3**へ進みます。

手順3 API 連携認証（認可業務選択）（利用登録）



<API連携認証（認可業務選択）（利用登録）>画面が表示されましたら、API連携先にて利用する業務を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

利用業務を選択

次へ

※. API連携事業者によっては表示されない場合があります。
表示されない場合は、**手順4**へ進みます。

手順4 API 連携認証（照会用暗証番号登録）（利用登録）



<API連携認証（照会用暗証番号登録）（利用登録）>画面が表示されましたら、「照会用暗証番号」の登録状態が未登録の口座を選択して、信用組合へ届け出ている「照会用暗証番号」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

照会用暗証番号

登録

※. 照会用口座に対し「照会用暗証番号」
登録済の場合は表示されません。
表示されない場合は、**手順6**へ進みます。

手順5 API 連携認証（照会用暗証番号登録結果）

API連携認証（照会用暗証番号登録結果）

以下の内容で照会用暗証番号を登録しました。
内容を確認の上、「確認」ボタンを押してください。
照会用暗証番号を追加登録するには、「照会用暗証番号の追加登録」ボタンを押してください。

登録状況	照会用口座	口座メモ	照会用暗証番号（現在）
登録済み	インターネット支店（001） 新通 2000002	口座メモ5678901234567890	****
未登録	インターネット支店（202） 新通 1111111	-	-
登録済み	インターネット支店（202） 新通 2222222	-	-
登録済み	豊洲支店（456） 新通 1000314	口座メモ5678901234567890	-

※登録期間中に「*」が表示されている口座が暗証番号は、認可完了後に有効となります。

確認 >

照会用暗証番号の追加登録 >

<API連携認証（照会用暗証番号登録結果）>画面が表示されます。

イ. 確定する場合

「確認」ボタンをクリックして、**手順6**へ進みます。

ロ. 「照会用暗証番号」を追加登録する場合

「照会用暗証番号の追加登録」ボタンをクリックして、**手順4**を再度行います。

確定

照会用暗証番号の追加登録

手順6 API 連携認証（情報アクセス許可）（利用登録）

API連携認証（情報アクセス許可）（利用登録）

API連携先サービス名（提供会社名）がお客様のインターネットバンキングの口座情報・明細情報へのアクセスを求めています。
API連携先サービス名（提供会社名）と都府県信用組合FBサービスはそれぞれの利用規約とプライバシーポリシーに従って、この情報を使用します。
以下の認可対象・認可期間をご確認の上、「許可」ボタンを押してください。

認可対象

認可対象 残高照会
入止金明細照会

認可期間

認可期間 一定期間（90日）

意思確認

「許可」ボタンを押す前に、API連携先サービス名（提供会社名）のWebサイトを閲覧できるかどうかをお客様自身の判断で確認してください。
「許可」ボタンを押すことによって、お客様はAPI連携先サービス名（提供会社名）の利用規約のもと利用を続けることとなります。
認可手続きを継続する場合は「認可手続きを継続する」のチェックボックスをチェックしてください。お客様の入力されたIDやパスワード等の認証情報はAPI連携先事業者には開示されません。また、API連携先事業者との間の通信は暗号化されています。
なお、本アプリケーションへのアクセスは、信用組合へ接続することによっていつでも解除することができます。

認可手続きを継続する

許可 >

<API連携認証（情報アクセス許可）（利用登録）>画面が表示されます。

意思確認をご一読のうえ、API連携先からのお客様口座情報へのアクセスを許可する場合は、「認可手続きを継続する」を選択し、「許可」ボタンをクリックします。

遷移元のAPI連携先画面に遷移します。

認可手続きを継続する

許可